

2008年 8月 8日

“損保業界初“

損害保険商品・サービスに関連したカーボンオフセットを実施

～保険事故対応における新たなCO₂削減の取組み～

カーボンニュートラル化(CO₂排出ゼロ企業)を目指している日本興亜損害保険株式会社(社長 兵頭 誠)では、自動車事故対応の際に、お客様がリサイクル部品(エコパーツ)の活用など環境に配慮した事故車両修理をご利用いただいた場合、弊社が一定額を提供して温室効果ガス削減事業から創出される排出権を調達する仕組み(カーボンオフセット)を開発し、9月より実施いたしますのでお知らせします。

排出権の取得は、有限責任中間法人日本カーボンオフセット(代表理事 末吉竹二郎 以下COJ)を通じて行い、調達した排出権は日本政府に譲渡することにより、京都議定書における日本の温室効果ガス排出削減目標の遵守に貢献します。

◆目的・背景

- ・地球温暖化による環境への影響は、人類にとって最も重要で、深刻な課題であります。また、異常気象等による自然災害は、損害保険事業にも大きな影響を及ぼすと考えられています。
- ・そのような中で、「資源の有効活用」「産業廃棄物の抑制」等の社会的な要請に応えるため、弊社はかねてより、自動車部品の補修が不可能な場合にはリサイクル部品を活用し、補修可能な場合は損傷部品を廃棄せず、修理して継続して使用することを促進してまいりました。「地球環境の保護」と「修理費等のユーザー負担の軽減」を広く社会に認知・浸透させることは、損害保険会社としての大きな役割であると考えております。
- ・また、地球温暖化防止の観点により、「カーボンオフセット(※)」の概念を広く啓蒙していくことも企業の果たしていく社会的責任のひとつであると考えております。
- ・そこでこのたび、自動車事故対応におきまして上記概念を導入することとしたものですが、この「損害保険商品・サービスに関連したカーボンオフセットを提供する仕組み」は業界初の試みとなります。

(※)カーボンオフセット

温室効果ガスの排出を削減する努力を行うとともに、やむを得ず排出される温室効果ガスについてその全部または一部を、他の場所でおこなわれた排出削減・吸収するプロジェクト等により実現された温室効果ガス削減量を用いて、埋め合わせる(オフセット)ことです。

弊社ではカーボンオフセットにより、ゼロカーボン社会の実現を目指す有限責任中間法人日本カーボンオフセットに協賛し、カーボンオフセット利用による、温室効果ガスの排出削減を応援しています。

◆「保険事故対応における新たな CO₂ 削減の取組み」(概要)

保険事故対応におけるCO₂削減の取組みとして、車両保険の事故車両修理時の樹脂バンパー補修やリサイクル部品（エコパーツ）利用に対してカーボンオフセットを提供します。

具体的には車両保険の事故車両修理時に樹脂バンパー補修、リサイクル部品（エコパーツ）を利用いただいた件数について、1 件当たり 50 円を当社が負担して、CO₂を通じて再生可能（自然）エネルギー系のクリーン開発メカニズム（CDM *1）から生まれる排出権（CER *2）を調達し、日本政府に譲渡します。それにより日常の活動により発生するCO₂を一部オフセットするものです。

【注】1 件 50 円の費用はお客様にご負担いただくものではありません（弊社負担）

これにより、京都議定書における日本の温室効果ガス排出削減目標（90 年比マイナス 6%）遵守に貢献します。

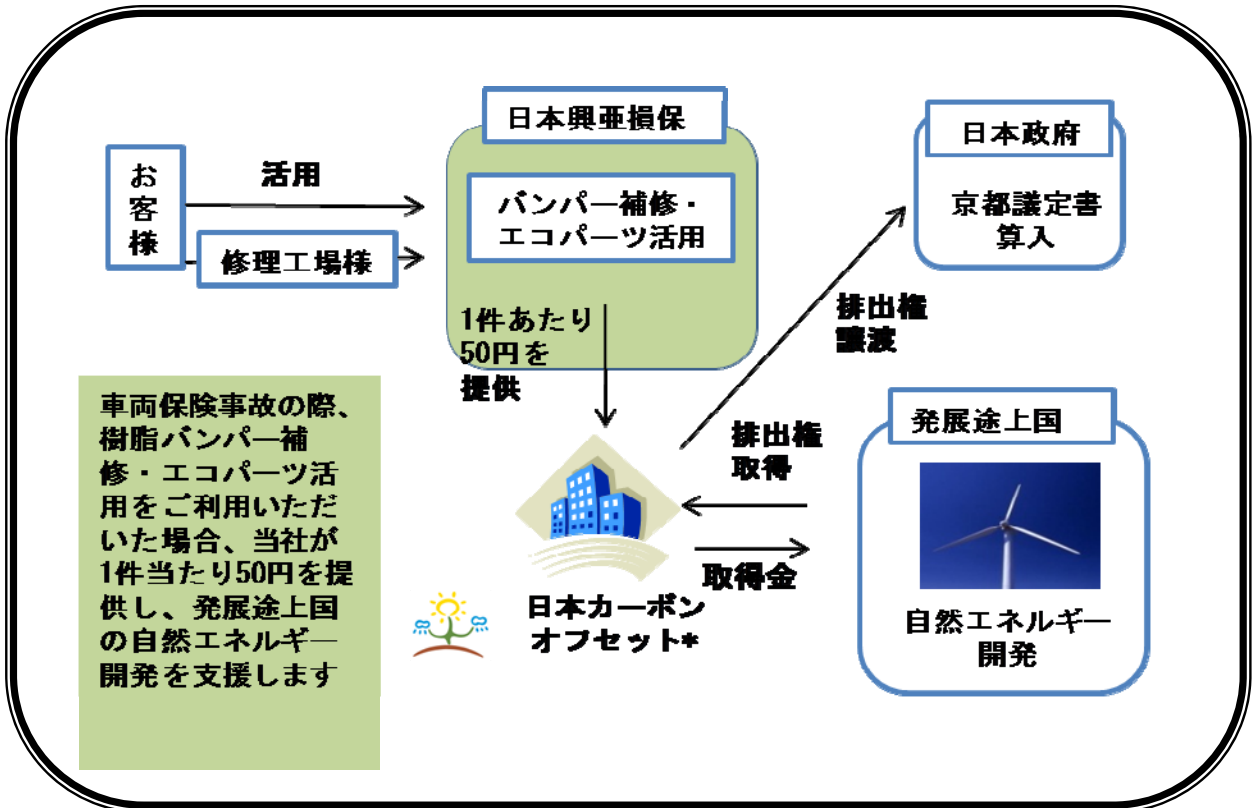
(*1) CDM (Clean Development Mechanism: クリーン開発メカニズム)

先進国が技術や資金を提供し、発展途上国でその国の持続可能な発展を助ける温暖化対策事業を実施。その事業によって生まれた排出削減量を、先進国の削減目標の達成に参入できる制度。

(*2) CER(Certified Emission Reduction)

国連で認証された、開発途上国との共同事業であるCDMから得られる排出削減量

【保険事故対応におけるカーボンオフセットの仕組】



【参考情報】

有限責任中間法人日本カーボンオフセット

代表理事 末吉竹二郎

所在地 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-23-12 第二山内ビル 3 階

TEL : 03-5777-6749 FAX : 03-5777-6549

事業内容 ●環境保全に関する情報の収集・研究事業
●温室効果ガスの排出削減および相殺に関する事業

以上